

シラバス

指定番号

150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	①多様な介護保険サービスを理解する。 ②介護職の仕事内容や働く現場を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3	0	<講義内容> ・介護保険サービス(居宅、施設)、介護保険外サービスの理解
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	0	<講義内容> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ・視聴覚教材の活用 <演習実施方法> ・介護職の仕事内容について班体制を用いてグループディスカッションを行う。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 DVD 教材
------------	-------------------------------

(別添 2 - 2)

平成 26 年 1 月 22 日現在

シラバス

指定番号 150

商号又は名称: 医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	①自立支援による高齢者の尊厳の保持が介護保険制度の目的であることを学ぶ。 ②介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及び留意事項の理解 ③人権擁護への取り組みについて学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	4	1	2.5	<通信学習課題の内容> 人権と尊厳の保持 ・ノーマライゼーション ・個人の尊厳と法制度 <講義内容> ・尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、虐待の定義、身体拘束、及びサービス利用者個人の尊厳と法制度 <演習実施方法> ・「事例検討」よりグループディスカッションを班体制で行う。
②自立に向けた介護	3	1	2.5	<通信学習課題の内容> 介護における自立支援 ・ICFの考え方 ・介護予防について <講義内容> ・自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念に対する気づきを促す。 <演習実施方法> ・班体制でロールプレイングを行う
③人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<講義内容> ・人権擁護への取り組み
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号 150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	①施設と居宅という介護環境の特性を理解し、多職種連携のあり方、それぞれの特性を理解する。 ②介護の仕事は知識・技術だけではなく高い倫理性が必要であることを理解する。 ③介護サービスを提供していくうえで必要な安全確保の視点を学び、事故を予防するために必要な要因・原因を考える。 ④介護の質に影響する介護職員の健康管理について学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・介護環境の特徴 ・地域包括ケアシステムの役割と機能 ・介護の基本視点 ・多職種との連携 <講義内容> ・家族による介護と専門職による介護の違い、介護職に係わる医療・看護との連携の必要性
②介護職の職業倫理	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> 介護サービスの公共性と職業倫理 ・利用者の自己決定の尊重 <講義内容> ・介護職員としての倫理の必要性・社会的責任 <演習実施方法> ・事例検討によるグループワーク
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> 介護における安全の確保 ・高齢者の3大事故について ・リスクマネジメント <講義内容> ・生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスク <演習実施方法> 「リスクマネジメント」について、グループディスカッション
④介護職の安全	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> 健康管理とストレスマネジメント ・介護職の健康管理 <講義内容> ・介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、それらに対する介護職員の健康管理
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号

150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(4) 介護福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	①介護保険制度を理解する。 ②看護と介護の連携の必要性を学習し、看護師と介護職の連携の現状・課題、チームにおける役割分担を学ぶ。 ③障がい者総合支援制度について学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> 介護保険制度 ・介護保険制度の基本的仕組み ・要介護、要支援の認定 <講義内容> ・介護保険制度創設の背景及び目的、動向、介護保険制度の仕組み、介護保険制度を支える財源・組織・団体の機能と役割
②医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> 医行為と非医行為 <講義内容> ・看護と介護の役割・連携、医行為と介護、リハビリテーションの理念 <演習実施方法> ・血圧・脈拍測定などのバイタルチェックを行う
③障がい者総合支援制度及びその他制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> 障がい者自立支援法 <講義内容> ・障がい者自立支援制度の意義と役割、個人の権利を守る制度
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号

150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	①介護サービスにおけるコミュニケーションの目的と意義、役割を理解し、相手の心身機能に合わせたコミュニケーションについて学ぶ。 ②記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることを学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p><通信学習課題の内容> 介護におけるコミュニケーション</p> <p><講義内容> ・介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割。 コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション。 利用者・家族とのコミュニケーションの実際。 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <p><演習の実施方法> ・グループで利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション演習を行う。</p>
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p><通信学習課題の内容> チームにおけるコミュニケーション</p> <p><講義内容> ・記録における情報の共有化、報告、コミュニケーションを促す環境</p> <p><演習の実施方法> ・グループで利用者の観察・記録・情報伝達演習を行う。</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号 150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	①加齢に伴う五感の変化が日常生活に与える影響について理解し、ケアを行っていくうえでどのような点に気をつけるべきか学ぶ。 ②高齢者の身体的・精神的機能の変化と病気との関連、日常生活への影響について学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> 老年期における感覚、知覚 <講義内容> ・老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響 <演習実施方法> ・グループで事例検討
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> 高齢者に多い疾患 <講義内容> ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <演習実施方法> ・事例検討によるグループワーク
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号 150
 商号又は名称: 医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	①認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について学ぶ。 ②加齢に伴うもの忘れと認知症の違いを理解し、認知症の初期症状、診断基準について学ぶ。 ③認知症という病気を理解し対応方法、適切なケアを学ぶ。 ④家族介護者の負担感やその要因を理解し、社会サービスの有効利用について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	2	1	1	<通信学習課題の内容> 認知症ケアの理念 <講義内容> ・認知症ケアの理念、パーソンセンタードケア
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<通信学習課題の内容> 認知症の基礎知識 <講義内容> 認知症の定義、診断基準など、認知症についての基礎知識 <演習実施方法> ・事例検討によるグループワーク
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 認知症に伴うこころとからだの変化 <講義内容> ・認知症の中核症状・行動・心理症状、認知症の方への対応
④家族への支援	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 家族介護者への支援 <講義内容> ・介護負担の軽減
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号

150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	①障がいの受容のプロセスを学び、介護職の役割を考える。 ②障がい別にみる症状、行動、支援を学ぶ。 ③家族の心理の一般的過程、家族の負担とその要因、家族支援の概要を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 障がいの概念 ・ICF、ICDH <講義内容> ・障がいの概念とICFの考え方、障がい者福祉の考え方
②障がいの医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・言語障がい者 視覚障がい者・発達障がい者・学習障がい者 <講義内容> ・身体障害、知的障害、精神障害、それぞれの心理・行動・特徴と支援
③家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 家族の心理とかかわりかた <講義内容> ・家族の負担と支援
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	なし
------------	----

シラバス

指定番号 150

商号又は名称:医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>①介護を行うための基本的な考えを理解し、介護保険制度下の介護サービスについて学ぶ。</p> <p>②高齢期に生じやすい心理・社会的環境の変化について学ぶ。</p> <p>③介護の専門職として必要な身体各部の名称・人体の骨格、関節、筋の働きを理解する。</p> <p>④生活における家事支援の必要性和利用者が望む衣食住の生活支援について学ぶ。</p> <p>⑤障害者や高齢者にとっての快適な住居整備とおもな福祉用具の基礎知識と利用法を学ぶ。</p> <p>⑥整容行動の基礎知識と仕組みを学ぶ。</p> <p>⑦安全で安楽な移乗の介護を理解し実践することを学ぶ。</p> <p>⑧食べ物の咀嚼、嚥下の意味と誤嚥させない介護のポイントを学ぶ。</p> <p>⑨特殊用具について学び、障害別の入浴介護方法と安全に入浴できる介護方法を学ぶ。</p> <p>⑩排泄用具の特徴と介護のポイントを理解し、排泄行動が自立できるための観察と介護方法を学ぶ。</p> <p>⑪寝具を整えるときの介護のポイントについて学び、ベッドメイキングの手順とポイントを理解する。</p> <p>⑫終末期における緩和ケアについて学ぶ、家族ケアにおける留意点を理解する。</p> <p>⑬介護過程の目的と意義、介護過程におけるチームアプローチの重要性について学ぶ。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護の基本的な考え方	4.5	1.5	3	<p><通信学習課題の内容> 介護の基本的な考え方 ・理論と法的根拠に基づく介護</p> <p><講義内容> ・理論・法的に基づく介護</p> <p><演習実施方法> ICFの活用法</p>
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	2	3	<p><通信学習課題の内容> 高齢者の心理 ・加齢に伴う変化とその心理 ・自己実現と生きがいづくり</p> <p><講義内容> ・学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、こころの持ち方が行動に与える影響、からだの状態がこころに与える影響</p>
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.5	1	2.5	<p><通信学習課題の内容> 人体の名称とはたらき ・運動動作に関する基礎知識</p> <p><講義内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、中枢神経と体性神経に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識、こころとからだを一体的に捉える、利用者の様子の普段との違いに気づく視点</p>

④生活と家事	5	4	1	<p><通信学習課題の内容> 家事援助の介助方法</p> <p><講義内容> ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞・ベッドメイキング</p>
⑤快適な居住環境整備と介護	5	3	2	<p><通信学習課題の内容> 住環境整備</p> <p><講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 福祉用具の使用法</p>
⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p><講義内容> ・整容に関する基礎知識、整容の支援技術</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 衣類の着脱、口腔ケア、洗面、爪切り</p>
⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p><講義内容> ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 体位・姿勢交換、移乗の介護、移動の介護</p>
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p><講義内容> ・食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 食事の介護</p>
⑨入浴、清潔に保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p><講義内容> 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 入浴の介護、全身清拭、陰部洗浄、手浴・足浴、洗髪</p>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p><講義内容> ・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p><演習の実施方法> ・DVD鑑賞 トイレ介助、ポータブルでの排泄介助、おむつ交換</p>
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	0	<p><講義内容> ・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p><演習の実施方法> ・体位姿勢交換</p>

⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	<講義内容> ・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援 <演習の実施方法> ・臨終が近づいた時の兆候と介護
⑬介護過程の基礎的理解	7	7	0	<講義内容> ・介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ <演習の実施方法> ・アセスメント、介護計画書に基づいて介護過程の演習
⑭総合生活支援技術講習	3	3	0	<講義内容> ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点の習得をめざす。 <演習の実施方法> ・グループで2事例を挙げ、支援技術の検討⇒演習
(合計時間数)	75	63.5	11.5	

使用する機器・備品等	DVD、ベッド、寝巻、簡易浴槽、ポータブルトイレ、尿器、差し込み便器、自助食器、車椅子、クッション、福祉用具、パジャマ、おむつ、おむつカバー、エプロン、ストロー、箸、吸飲み、スプーン、タオル、バスタオル、シャンプー、リンス、ドライヤー、綿棒、洗面器、温度計、シーツ、爪切り、ナイロン手袋
------------	---

シラバス

指定番号 150
 商号又は名称: 医療法人博悠会なとり介護職員初任者研修

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだ事について再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	2	2	0	<講義内容> ・研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶこと、根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等） <演習の実施方法> ・グループワークにて研修で学んできたことを再確認
②就業への備えと研修修了後における実例	2	2	0	<講義内容> ・継続的に学ぶべきこと、研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所における実例を紹介
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	なし
------------	----